

## 社会科(水産業のさかんな地域)

## 算数科(面積)

## 2教科同時進行単元内自由進度学習による

本単元で育成する資質・能力

「メタ認知」「本質を志向する価値観」  
「思考力・判断力・表現力」

1 日 時 令和元年10月28日(月) 5校時

2 学 年 第5学年 14名 (授業場所・・・社会科少人数教室 算数科5年教室)

## 3 単元観

## 社会科学習指導要領 2 第5学年(2)

## ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (ア) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。
- (イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。
- (ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。

## イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。
- (イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

## 学習指導要領 1 第5学年の目標 学びに向かう力、人間性等

- (3) 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

## 社会科に関して

本質的な問いは、「日本の水産業が持続的に成り立っていくにはどうあるべきか。」である。本単元では、私たちの食生活に密接なかかわりをもつ水産業について学習する。日本は周囲が海に囲まれており、水産業は重要な産業である。学習の入り口として、内海を活かした牡蠣の養殖業、海流の特性や外国との協力で獲られるカニ、協力関係を結ぶ地方スーパーマーケットを扱う。学びを進展させていくことで、日本全体の水産業の概要を捉えることのできる単元である。

また近年、食文化の変化による魚離れや食料資源の確保や自然環境の関わりなどの観点の問題や漁業で働く人の減少の問題もある。こういった問題に対して取り組んでいる人々の工夫や努力に学ぶとともに、児童自身がそれらの問題に対して考えをもち表現することのできる単元である。

## 算数科に関して

本質的な問いは「様々な面積はどのように求めればよいのか」である。本単元では、基本的な図形の広さについて単位を基にしてその単位の幾つ分かによって数値化して表す単位の考えを中心としつつ、求積可能な図形に変形させて考えることや面積の求め方を洗練させ公式を導き出す発展的・統合的な考え方を育成することを主なねらいとしている。

ここで扱う図形は、三角形を皮切りに平行四辺形、台形、ひし形であり、それらの面積を、既習の図形の面積の求め方をもとに考えさせる。「底辺」、「上底」、「下底」、「対角線」などの算数用語と意味を確かめながら、それらを用いて求積方法を説明できるようにさせたいと考え本単元を設定した。

## 算数科学習指導要領 2 第5学年の内容B図形(3)平面図形の面積

## ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

- (ア) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解すること。

## イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。

- (ア) 図形を構成する要素などに着目して、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くこと。

## 学習指導要領第5学年 1 目標 学びに向かう力、人間性等

- (3) 数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

4 児童観

5 指導観

**(1)実態把握を学習過程の工夫と学習環境の工夫に活かす**

学習内容に対する理解や意欲に大きな差がみられ、とりわけ学習内容の積み上げの多い算教科の一斉授業では、学びへの参加に困難が伴う場面がしばしば見られる。

「さまざまな土地のくらし」で単元内自由進度学習を取り入れたことで、児童は自力で資料を読み取ったり見つけたことをもとに自分の考えをまとめたりすることに興味をもつようになった。しかし知識の定着に課題が見られた。

「合同な図形」の学習では、三角形の内角の和は全て 180 度であることを発見的に学ばせたり三角定規の内角の和と関連付けさせたりしたが、「内角の和がいくらだったか」という個別の知識を想起しようとし、関連付けた知識として獲得することに課題がみられた。また、かけ算や割り算の計算に課題がみられる児童もいるため、計算の負荷を軽減する手立てが必要である。

**○対象児童のつまずきとその要因分析**

① 語彙の獲得に課題が見られる。

対象児童は学習に向かおうとすることができるが、語彙の中でもとりわけ抽象的な概念を表す語彙を理解することに課題がみられる。社会科教科書の説明内容は語彙の意味が分からず理解できないことが多いが、語彙の問題がクリアできれば資料から分かったことをまとめようとするすることができる。算教科の学習は、意味的理解より手続きを獲得したいという欲求から計算手順などを覚えることに関心がいきやすい。手続き的な理解も大切にしつつ、意味理解を促す手立てが必要である。

② 図形の位置関係などを捉えることに課題が見られる。

立体の体積を求める学習においては、平面に描かれた立体の図形のどの辺の長さを使えばよいか考えることが難しかった。具体物を使用するなど、図形の位置関係を捉える手立てが必要である。

**(2)学習過程の工夫**

- ・児童が学習をコントロールし、教師が児童それぞれを把握し支援するために2教科同時進行の自由進度学習の単元にする。
- ・外発的な動機づけとして学習進度に合わせて面積カードが獲得できる状況を作る。

**○対象児童のつまずきに対する手立て**

- ・対象児童は具体から迫る方が学習しやすいと考える。そこで、社会科では「大好きな魚」を追求するというコースを設けた。また算数では習熟度別コースを用意し、図形の位置関係を捉えさせるために実際に図形を切ったりできる場や、動画を参照できるようにする。こういった活動と公式を関連付けさせることで意味的理解を促す。

**(3)学習環境の工夫**

- ・知識の定着や獲得方法に課題がみられることから、様々な児童の発想を共有するために求積可能な図形へ変形したり公式と関連付けて説明したりしたプリントを掲示するスペースや作り、互いに見合いながら学べる環境を作る。
- ・人的環境としてスーパーで漁業に携わるパイヤーの動画を見せたりテレビ電話で話したりできるようにするとともに事象を比較して考えさせるなど関連付けて考えられるようにする。
- ・倍積変形や等積変形の発想を促すために図形の敷き詰めなど具体物を使った環境整備を行う。

**○対象児童のつまずきに対する手立て**

- ・社会科では放課後学習を使い、教科書の内容を音読でき意味がわかるようにする。お寿司のネタの模型や説明の掲示を用意し、具体から学習を広げられるようにする。
- ・語彙のつまずきではいつでも教員に質問できるようにする。算数科では自力で取り組みやすくなるよう、具体物やヒントカードを用意し、必要に応じて参照させる。

6 単元で育てたい資質・能力及び本単元の目標と評価規準

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
社会科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や地球儀, 統計などの資料を活用して, 我が国の水産業の様子について必要な情報を集め読み取っている。</li> <li>・調べたことを白地図や作品などにまとめている。</li> <li>・様々な食料生産が国民の食生活を支えていること, 食料の中には外国から輸入しているものがあることを理解している。</li> <li>・食料生産に従事している人々の工夫や努力, 生産地と消費地を結ぶ運輸などの働きを理解している。</li> <li>・我が国の水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを理解している。</li> </ul>	<p><b>【資】思考力・判断力・表現力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の水産業の様子について, 学習問題や予想, 学習計画を考え表現している。</li> <li>・食糧生産の様子と自然環境や国民の食生活とを関連付けて, 我が国の水産業が国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深い関わりをもって営まれていることを考え適切に表現している。</li> </ul>	<p><b>【資】メタ認知</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の学びの状況(内容や方法, 進捗度)を捉え, 好転するよう努力している。</li> </ul> <p><b>【資】本質を志向する価値観</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国の水産業に興味をもち, 意欲的に調べている。</li> <li>・国民生活を支えている我が国の水産業の発展を考えようとしている。</li> </ul>
算数科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形, 平行四辺形などの面積を公式を用いて求めることができる。</li> <li>・面積の大きさについての豊かな感覚をもっている。</li> <li>・必要な部分の長さをを用いることで, 三角形, 平行四辺形などの面積は計算によって求めることができることを理解している。</li> </ul>	<p><b>【資】思考力・判断力・表現力</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三角形, 平行四辺形などの面積の求め方を考えている。</li> </ul>	<p><b>【資】本質を志向する価値観</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の正方形や長方形の面積の求め方に帰着させて考えることで, 三角形, 平行四辺形などの面積を求めることができるというよさに気づき, 進んで活用しようとしている。</li> <li>・三角形, 平行四辺形などの面積の公式を導き出そうとしている。</li> </ul>

7 単元計画(1)社会科(10時間)

次		社会科				
方法		学習活動	指導上の留意点			
1	一斉指導	<b>課題設定</b> ・ガイダンスを受け学習計画を立てる。 あなたが勉強したいのはどのコース？自分の学習コースを選ぼう！	・本単元の学習内容について概略を説明し、児童に与えられた時間の中でどの教科に何時間かけるか計画を立てさせる。計画をもとに毎回振り返りを行わせ学びを調整させる。			
2	自由進度	<b>情報収集・整理分析</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <b>大好きな魚から調べようコース</b>                              ①水揚げ量が多い漁港の条件を考える。                              ②漁港の施設を調べる。                              ③大好きな魚とその漁法について調べる。                              ④VTR「水産業がさかんな地域」を見る。                              ⑤漁業に携わる人々の利益を上げるための工夫を調べる。                              ⑥水産業の抱える問題を調べる。                              ⑦養殖・栽培漁業を調べる。                              ⑧VTR「守り育てる漁業」を見る。  <b>まとめ</b>                              ⑨大好きな魚をこれからも取り続けていられるようにするための工夫を調べこれからの日本の水産業について考えまとめる。                         </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <b>カキの養殖から調べようコース</b>                              ①水揚げ量が多い漁港の条件を考える。                              ②漁港の施設を調べる。                              ③広島湾の特徴とカキについて調べる。                              ④VTR「水産業がさかんな地域」を見る。                              ⑤漁業に携わる人々の利益を上げるための工夫を調べる。                              ⑥水産業の抱える問題を調べる。                              ⑦養殖・栽培漁業を調べる。                              ⑧VTR「守り育てる漁業」を見る。  <b>まとめ</b>                              ⑨広島県のカキの養殖の工夫を調べこれからの日本の水産業について考えまとめる。                         </td> <td style="width:33%; vertical-align: top;"> <b>スーパーマーケットの魚売り場から調べようコース</b>                              ①水揚げ量が多い漁港の条件を考える。                              ②漁港の施設を調べる。                              ③スーパーの魚の買い取り方を調べる。                              ④VTR「水産業がさかんな地域」を見る。                              ⑤漁業に携わる人々の利益を上げるための工夫を調べる。                              ⑥水産業の抱える問題を調べる。                              ⑦養殖・栽培漁業を調べる。                              ⑧VTR「守り育てる漁業」を見る。  <b>まとめ</b>                              ⑨スーパーマーケットで魚介類を仕入れ売る人の工夫を調べこれからの日本の水産業について考えまとめる。                         </td> </tr> </table>	<b>大好きな魚から調べようコース</b> ①水揚げ量が多い漁港の条件を考える。 ②漁港の施設を調べる。 ③大好きな魚とその漁法について調べる。 ④VTR「水産業がさかんな地域」を見る。 ⑤漁業に携わる人々の利益を上げるための工夫を調べる。 ⑥水産業の抱える問題を調べる。 ⑦養殖・栽培漁業を調べる。 ⑧VTR「守り育てる漁業」を見る。 <b>まとめ</b> ⑨大好きな魚をこれからも取り続けていられるようにするための工夫を調べこれからの日本の水産業について考えまとめる。	<b>カキの養殖から調べようコース</b> ①水揚げ量が多い漁港の条件を考える。 ②漁港の施設を調べる。 ③広島湾の特徴とカキについて調べる。 ④VTR「水産業がさかんな地域」を見る。 ⑤漁業に携わる人々の利益を上げるための工夫を調べる。 ⑥水産業の抱える問題を調べる。 ⑦養殖・栽培漁業を調べる。 ⑧VTR「守り育てる漁業」を見る。 <b>まとめ</b> ⑨広島県のカキの養殖の工夫を調べこれからの日本の水産業について考えまとめる。	<b>スーパーマーケットの魚売り場から調べようコース</b> ①水揚げ量が多い漁港の条件を考える。 ②漁港の施設を調べる。 ③スーパーの魚の買い取り方を調べる。 ④VTR「水産業がさかんな地域」を見る。 ⑤漁業に携わる人々の利益を上げるための工夫を調べる。 ⑥水産業の抱える問題を調べる。 ⑦養殖・栽培漁業を調べる。 ⑧VTR「守り育てる漁業」を見る。 <b>まとめ</b> ⑨スーパーマーケットで魚介類を仕入れ売る人の工夫を調べこれからの日本の水産業について考えまとめる。	自由進度学習の特性 この学習方法では学びを自ら調整する力を育成することが主眼におかれている。そのため、学習計画も児童が作成する。授業の進度も児童が管理し調整する。そのため授業の最後に児童は振り返りを毎回行う。教師は、児童の授業中の姿や振り返りの記述をもとに各児童の学習内容の定着度のみならず、その方略へも形成的評価を行う。 また一斉の授業と比べ児童個々人の学習適性に合わせた学びを展開するためにコースが複数用意されることが多い。 ・少人数教室をメインの場とする。 ・人的物的環境として以下の用意をする。 寿司ネタとその魚の取れる漁場紹介、水産振興センターの資料、コンピューター、魚売り場、仕入れ担当者との双方向のやり取りができる環境 ・児童の学習傾向から具体的な事象から学びを広げたほうが理解しやすいと考え、具体的な入り口を設けている。しかし、指導要領にある通り、「我が国の」水産業を扱うことから、取り上げた事象から他に広げられるようにする。
<b>大好きな魚から調べようコース</b> ①水揚げ量が多い漁港の条件を考える。 ②漁港の施設を調べる。 ③大好きな魚とその漁法について調べる。 ④VTR「水産業がさかんな地域」を見る。 ⑤漁業に携わる人々の利益を上げるための工夫を調べる。 ⑥水産業の抱える問題を調べる。 ⑦養殖・栽培漁業を調べる。 ⑧VTR「守り育てる漁業」を見る。 <b>まとめ</b> ⑨大好きな魚をこれからも取り続けていられるようにするための工夫を調べこれからの日本の水産業について考えまとめる。	<b>カキの養殖から調べようコース</b> ①水揚げ量が多い漁港の条件を考える。 ②漁港の施設を調べる。 ③広島湾の特徴とカキについて調べる。 ④VTR「水産業がさかんな地域」を見る。 ⑤漁業に携わる人々の利益を上げるための工夫を調べる。 ⑥水産業の抱える問題を調べる。 ⑦養殖・栽培漁業を調べる。 ⑧VTR「守り育てる漁業」を見る。 <b>まとめ</b> ⑨広島県のカキの養殖の工夫を調べこれからの日本の水産業について考えまとめる。	<b>スーパーマーケットの魚売り場から調べようコース</b> ①水揚げ量が多い漁港の条件を考える。 ②漁港の施設を調べる。 ③スーパーの魚の買い取り方を調べる。 ④VTR「水産業がさかんな地域」を見る。 ⑤漁業に携わる人々の利益を上げるための工夫を調べる。 ⑥水産業の抱える問題を調べる。 ⑦養殖・栽培漁業を調べる。 ⑧VTR「守り育てる漁業」を見る。 <b>まとめ</b> ⑨スーパーマーケットで魚介類を仕入れ売る人の工夫を調べこれからの日本の水産業について考えまとめる。				
3	自由進度	<b>実行 スペシャル学習</b> 以下のメニューから学習を発展させる。 ・漁業の問題を解決する方法を新聞やポスターなどで表現しよう。 ・漁業のマンガや絵本、小説を書こう。 ・漁港を日本地図にまとめよう。 ・漁業ソングを作ろう。 ・模型を作ろう。 ・全国ブランド海鮮魚マップを作ろう。 ・超リアルな漁法の絵をかこう。 ・漁業クイズを作ろう。 <b>振り返り</b> 学習内容と方法を振り返る。	・ここでスペシャル(発展)学習を用意するが、必ず取り組む必要はない。例えば基礎コースでプリントでの学習に終始してもよい。ただしコースのプリントは全て取り組むことを課す。今回は社会科か算数科のどちらか一方はスペシャル学習へ取り組むよう指導する。			

7 単元計画(2)算数科(15時間)

次		算数科			
方法	学習活動			指導上の留意点	
1	一斉指導	<b>課題設定</b> ガイダンスを受け学習計画を立てる。 あなたにぴったりのコースはどのコース？学習診断も参考に自分の学習コースを選ぼう！			・本単元の学習内容について、概略を説明し、児童にどの教科に何時間かけるか計画を立てさせ、毎回振り返りを行わせ学びを調整させる。
2	自由進度	<b>情報収集・整理分析</b>			複数単元同時進行の自由進度学習の特性 ここでは社会科と算数科の複数単元同時進行の自由進度学習を行う。複数単元同時で行う一番の特性は、児童の自己学習能力の育成にある。児童が「学習内容を習得する」上で、「どの順で」「どのくらいの時間をかけて」学ぶかを自己決定する。 この場合、授業時数のカウントが個人個人で変わってくる問題がある。しかし、それぞれの教科で1番時数をかけなかった児童の時数を確認し、年間を通じた余剰分の時数によって、それを満たすよう留意する。
<b>こつこつ確実</b> 面積マスターコース ①直角三角形の面積の求め方を考える。 ②三角形の面積の求め方を考える。 ③三角形の面積の公式を考える。		<b>ちょっと挑戦</b> 測量士コース ①長方形と平行四辺形の面積を比べる。 ②平行四辺形の面積の公式を考える。 ③三角形の面積の公式を考える。			
チェックテスト ◆三角形の求積法を図形を切り貼りしながら説明する。		チェックテスト ◆三角形や平行四辺形の求積法を図形を切り貼りしながら説明する。			
<b>まとめ</b> チェックテスト ◆それぞれの図形の面積の求め方をまとめる。		<b>まとめ</b> チェックテスト ◆色んな図形の面積の比べ方を考え、どの図形の面積が一番大きいかわかる。			
		<b>どんどん発展</b> プロフェッショナルコース ○直角三角形の面積の求め方を考える。 ○三角形の面積の公式について考える。 ○平行四辺形の面積の公式を考える。		・こつこつ確実コースは基礎コースであり、プリント学習に時間をかけることで基礎的な学習内容を習得させることをねらう。ちょっと挑戦コースは標準コースである。教科書では直角三角形の面積から指導する流れとなっている。しかし本学級の多くの児童は直角三角形より平行四辺形を求積可能な長方形に直して考える発想の方がしやすいと考えたため順を変えている。発展コースではさらに個に最適化するために自身で学習する図形の順を選べるようにした。 ・物的環境として以下の用意をする。 インターネットによる図形の変形動画、電子教科書、面積カードゲーム場、折り紙 ・かけ算や割り算でつまづく児童には電卓を使用させる。	
		チェックテスト ◆三角形や平行四辺形の求積法を説明する。			
		④平行四辺形の面積の求め方を考える。 ⑤平行四辺形の面積の公式を考える。 ⑥いろいろな三角形や平行四辺形の面積を求める。 ⑦台形の面積の求め方を考える。 ⑧台形の面積の公式を考える。 ⑨ひし形の面積の求め方を考える。 ⑩ひし形の面積の公式を考える。 ⑪色んな図形の面積を求める。 ⑫高さや面積の関係について考える。 ⑬図形の面積についてまとめる。			
		④台形の面積の公式を考える。 ⑤ひし形の面積の公式を考える。 ⑥四角形の面積を工夫して求める。 ⑦色々な三角形や平行四辺形の面積を求める。 ⑧高さや面積の関係について考える。 ⑨図形の面積についてまとめる。			
3		<b>実行</b> <b>スペシャル学習</b> 以下のメニューから学習を発展させる。 ・算数面積新聞を書こう。・面積問題の解説動画を作ろう。 ・他の面積の求め方を考えよう。・難しい問題にチャレンジしよう。 ・タングラムで色々な形を作ろう。・陣地取りゲームを作ろう。 ・問題づくりをしよう。 <b>振り返り</b> 学習内容と方法を振り返る。			・ここでスペシャル(発展)学習を用意するが、必ず取り組む必要はない。例えばプリントでの学習に終始してもよい。ただしコースのプリントは全て取り組むことを課す。

8 パフォーマンス課題 (社会科・算数科)

スペシャル学習に取り組もう。

9 パフォーマンスの評価基準 (ICE ルーブリック)

	I (個別の知識レベル)	C (関連付けられた知識レベル)	E (応用レベル)
評価基準	自身で選んだ教科の学習内容を復習することができる。	自身で選んだ教科のスペシャル学習に取り組み、そこで自身で作成したものの意図を学習内容と関連付けて説明することができる。	自身で選んだ教科のスペシャル学習に取り組み、未来の食糧生産像を創造したり学習内容を発展させたりすることができる。
児童に提示する評価基準	自由進度学習を通して分かったことを振り返ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業の勉強を通して食べ物を生産する上で大切だと思ったことを新聞や漫画などの作品に含めて表現している。</li> <li>習っていない図形の面積をもとめるにはどうすればよいか説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業の勉強を通して食べ物を生産する上で大切だと思ったことをまとめこれからの漁業で大切なことを新聞や漫画などの作品に含めて表現している。</li> <li>複雑な図形の面積をもとめるにはどうすればよいか説明できる。</li> </ul>
反応例	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁業には遠洋漁業も沖合漁業も栽培漁業もあります。</li> <li>省略</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新鮮で良い魚をとって輸送して販売するまで様々な工夫をしてくれているから私たちの食生活は成り立っている。</li> <li>この図形はこの部分を移動すれば面積がもとめられる図形になるから面積が求められます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新鮮で良い魚をとって輸送して販売するまで様々な工夫をしてくれているから私たちの食生活は成り立っているけど、自然環境の変化で漁場が変わったり捕れる魚の量も変わったりしている。広島のカキの養殖のようにカキをとるだけでなく同時に森を育てるなどこの環境を守っていく取り組みも必要だ。</li> <li>この図形はこの部分を移動すれば面積がもとめられる図形になります。</li> </ul>

10 本時の展開

※自由進度学習の特性上本時のねらいと評価基準を記載しない。

展開	学習活動への支援		
1 進捗確認	対象児童への手立て	全体指導	アフォーダンスの視点から
2 自由進度	<p>※ 以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どこで悩んでいるかや、どの資料を使うと調べられるかを問い、問題を明らかにさせる。</li> <li>問題解決的な思考ができるよう課題に対して予想をさせる。</li> <li>困った時に教師に尋ねるだけでなく他の書籍を見たり、自分で掲示を見て回ったりするなどの自力での解決方法を促す。</li> <li>児童の状況に合わせて、活動を促したり、課題解決に必要な資料やヒントカードをこちらから限定して提示したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるだけ自分の力で学習しよう。</li> <li>調べる学習には教科書や資料集、掲示、インターネットなどの資料が使えますね。</li> <li>どんな調査方法が効率よく学べるか考えよう。</li> <li>今やっていることが学びになっているか自分で判断しよう。</li> </ul> <p>スペシャル学習に取り組む児童</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最後にはどんなものに仕上げようと思っていますか。</li> <li>作品段階 (評価基準) のどこをねらっていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教室や廊下に関係資料を掲示する。児童が資料に関心をもてるよう、児童の目の高さに資料を配置する。</li> <li>社会科では、国産と外国産の水産業を比較するコーナーや、寿司ネタがどこから来ているか分かるコーナーなどを用意する。</li> <li>算数科では、図形を構成するパズルや、図形の高さがどこにあたるか考える掲示などを用意する。また外発的動機づけとして面積カードを学習進度に合わせて渡して面積求めゲームで使わせる。</li> </ul>
3 振り返り	振り返りシートに学習方法や態度について振り返りを書く。		